



おぐに 議会だより

創刊号

平成22年5月10日



小国小学校入学式

平成22年3月議会

- 発行に当たっての議長挨拶 ————— P2・3
- 平成22年度本予算 ————— P4・5
- 平成21年度補正予算《景気対策繰越》——— P6・7
- 委員長挨拶・一般質問 ————— P8～12
- 議会事務局紹介 ————— P13

議会だより 発行にあたって



小国町議会議長

河津征四郎

私達は、主権者である住民（有権者）から選挙で選ばれ、住民の代表として正当性を持った議員で組織されています。町議会は、議会制民主主義を具現するものであり、直接民主制の代替物であると思なされます。

今、私達自身原点に立ち戻り、地域の住民のため、議会は地域が自己決定・自己責任の原則で、運営される時代において、従来の脇役から議員自身もここ

でもう一度自分自身を見直し、進む必要が大切であります。

議会の役割の一つは、町の政治・行政の基準であり、住民に義務を課し、権利を制限するものです。これは、条例を制定する事である（立法機能）。二つめは特に重要であるが、機関対立関係にある町長の行う行政を抑制監視することである（行政チェック機能）。この二点が議員にとって重要な点です。住民が実感できる政策を提言する議会。言い換えれば住民に開かれた議会を住民とともに作るためには、次の三点を考えています。

（一）私達は、常に議員としての役割とは何かを問い、従来の行政依存追認の議会活動からの脱却を図り、意思決定機関として活動すること。

（二）住民の意向を行政に反映させるための議会活動を行うこと。

（三）地域主権改革や国の政権交替による国家機関の流れの変革により、制度の変化・変動に伴う議会改革・行政改革についても自己満足であってはならないこと。

常に住民の目線で評価し、自己改革に繋いで行かなければならないと思います。議会だよりを発行するにあたって最大の目的は、政策提言できる議会へ変えて行く事だと考えています。その為には、議員各自が議員として自覚を持つことであり、町民が実感できる議会に変われば地域が変わります。

地域住民が、議会と言う機関を信頼する事によって住民自治が確立します。そうなる事を目標として、議会と住民が一体となった小国町を作って行きたいと存じます。



議長・河津征四郎
⑤ 時松 昭弘

① 永田 征一郎
⑥ 熊谷 眞巳

⑦ 石松 丈多郎
② 原山 光成

⑨ 小田 清
③ 梅田 正剛

⑩ 高村 祝次
④ 北里 邦治

⑪ 奴留湯 哲宣

議席番号順です。



副議長のひと言

小国町議会副議長 永田征一郎

長い間の懸案であった議会広報を発行することになりました。私も議員一同地域住民の代表として、活力と魅力ある住み良い町づくりを目指し、執行権限を持つ執行部と、議決権を持つ議会側と、それぞれの権限を尊重し協力して、町民の負託に応えるよう立派な町政を創り上げていきたいと思っています。

そのためには、基幹産業である農林業の振興や商工業、観光業の活力へ繋がるよう導き、福祉・教育・文化の向上を図り、議員同志が活発に議論する議会の実現に向けて努力して参りたいと考えています。

さて、3月議会も終わり、平成22年度は、始めて取り組む光ファイバー整備事業があります。詳細については集落単位で説明会が行われたと思います。町民の方々の反応はこれからの時代にふさわしい事業として大きな期待と希望を持っています。

終わりに、町民の方々の健康とご多幸をお祈り申し上げご挨拶いたします。



議会運営委員会

議会にあたり議事の進行をはかります。

議会運営委員長 梅田正剛

議会運営委員会は、議会を円滑にしかも効率的に運営するための委員会です。

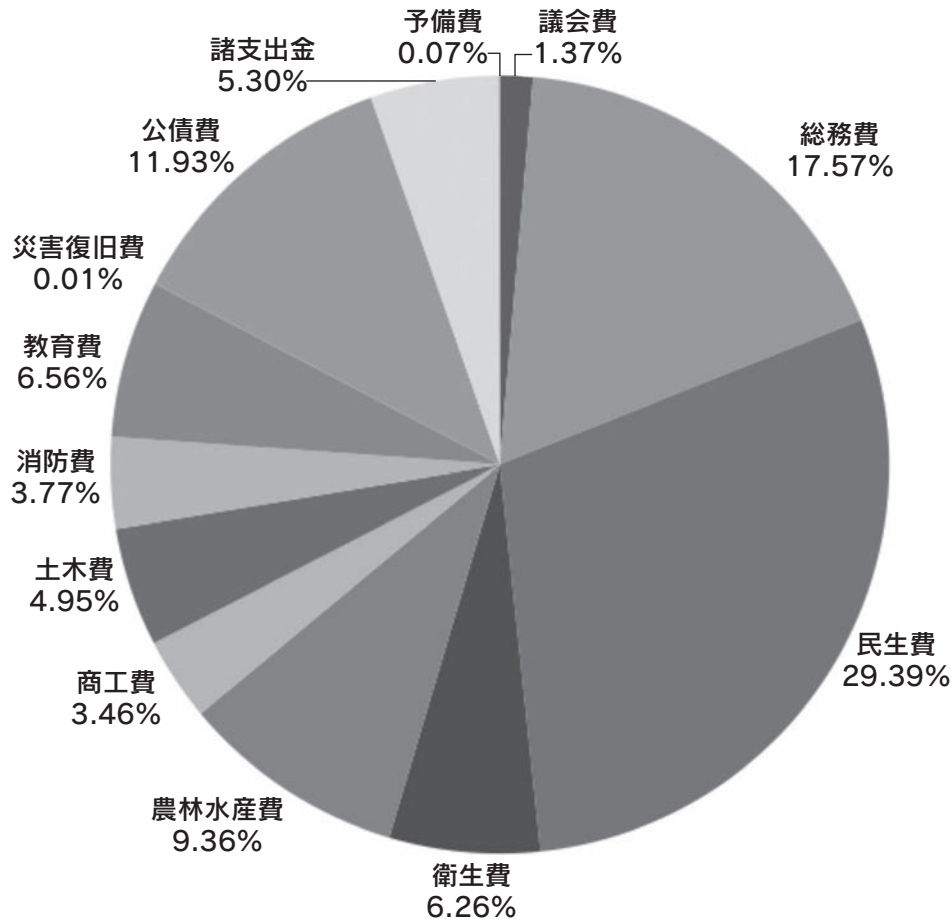
主に、定例会や臨時会の運営のあり方、会期及び会議日程、各議案や陳情等の審査、及び予算決算の審議の方法、発言関係、規定の運用等議会運営全般について協議し、意見調整を図ることを役割としています。

議会前には必ず会議をし、様々な事項について審議決定しています。

構成人員は次の5名と議長が出席いたします。

委員長	梅田 正剛
副委員長	北里 邦治
委員	永田 征一郎
	原山 光成
	熊谷 眞巳
議長	河津 征四郎

平成22年度 小国町一般会計予算



歳出の内訳

総 額 50億 1,000万円

・ 議会費	68,416 千円	・ 土木費	248,167 千円
・ 総務費	880,335 千円	・ 消防費	188,659 千円
・ 民生費	1,472,638 千円	・ 教育費	328,717 千円
・ 衛生費	313,451 千円	・ 災害復旧費	600 千円
・ 農林水産業費	468,721 千円	・ 公債費	597,814 千円
・ 商工費	173,287 千円	・ 諸支出金	265,613 千円
		・ 予備費	3,582 千円

平成22年度 小国町特別会計予算



おぐに老人保健施設



小国公立病院

特別会計予算内訳

国民健康保険	1,210,231 千円
老人保健	1,200 千円
介護保険	712,283 千円
後期高齢者医療	97,651 千円
地方改善施設住宅新築資金等貸付金	1,575 千円
坂本善三美術館	12,492 千円
簡易水道	9,320 千円
農業集落排水事業	132,457 千円

3月議会の条例改正内容 条例の一部改正

**小国町児童医療費
助成に関する条例
の一部を改正する
条例について**

● 児童医療費助成の対象者が「小学3年生まで」となっているものを

「中学3年生まで」

とし、自己負担分の通院1千円及び入院2千円を廃止し、**「全額助成」**することになりました。

施行日 4月1日



小国町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について

● 小国町長及び教育長の給与の特例期間を一年延長し、平成22年4月1日～平成23年3月31日までとするもの。なお、減額の率等は昨年と同様で、町長は100分の40、教育長は100分の3を減額するもの。

施行日 4月1日

小国町監査委員に関する条例の一部を改正する条例について

● 定期監査の時期について、11月と定めてあるのを年度当初に策定する年間監査計画に基づき、定期監査を行うようにする。また、「その他の執行機関」を「関係機関」と改正することにより、議会に対しても監査を行うことができるようにするもの。

施行日 公布日

改正 医療費補助

季節性インフルエンザ料金改定

3歳から64歳 2千円補助

65歳以上 全額補助

ふるさと総合健診の補助

男性 5千円

女性 6千円

人間ドックの補助が復活しました。

最高2万円

3月議会の補正予算内容 平成21年度の補正予算(抜粋)

《景気対策繰越》

耐震補強及び大規模改造事業————— 2億7,584 万円

小中学校太陽光発電施設整備事業————— 7,160 万円

小国ドーム床修繕事業————— 800 万円

庁舎外壁、屋根防腐塗装事業————— 800 万円

地域情報通信基盤整備事業(光ファイバー) 16億1,054 万円

林道舗装事業————— 1,270 万円

橋りょう改修事業————— 2,400 万円

町道舗装工事事業————— 3,467 万円

町道改良事業————— 3,505 万円



総務文教福祉常任委員会

総務文教福祉常任委員長

原山 光成

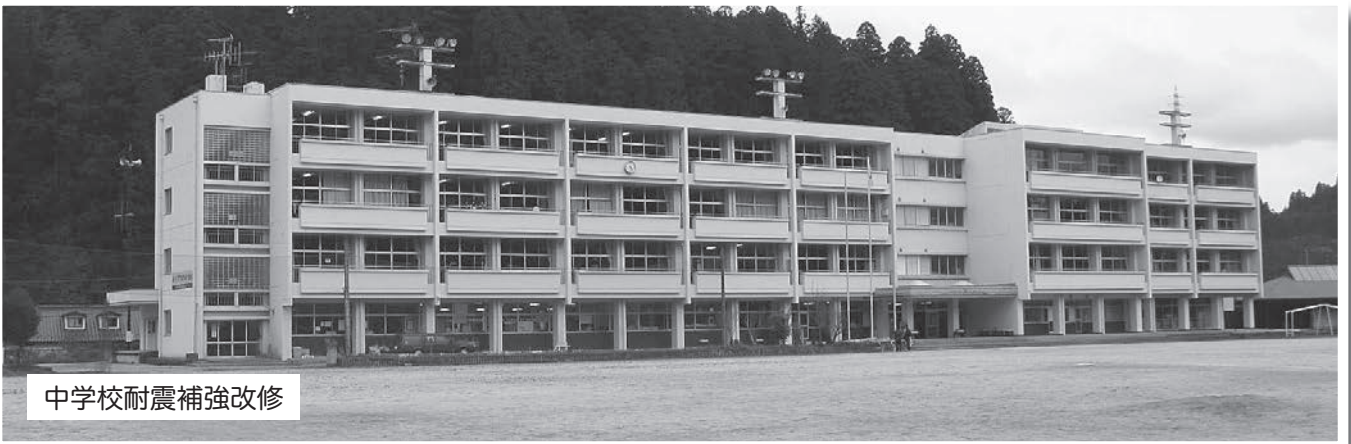
去る、3月8日の本会議で、私たち総務文教福祉常任委員会は、平成22年度一般会計及び特別会計予算案の内、当委員会所管の審議の付託を受け、同11日委員会を開き、本会議で可決すべきと採決しました。同18日の本会議で委員長報告を行い、全議員の賛成で平成22年度予算は可決いたしました。

この常任委員会は、所管の關係ある条例、予算、請願、意見書などを本会議から付託を受けて、可決すべきか否かを審議します。

以前の総務と文教厚生との二つの常任委員会を議員減により一つに併せたものであります。

行政サービスの範囲が非常に広く、議会、総務課、住民課、健康福祉課及び教育委員会等の所管で、各種事業等の審査を行います。

全員で予算審議や決算認定のために現地調査や町民の皆様の意見もお聞きし、行政に反映させていきます。



中学校耐震補強改修

産業常任委員会

産業常任委員長

熊谷 眞巳

平成22年第1回小国町議会定例会が3月8日に招集され主な議案として、平成22年度小国町一般会計予算、50億1,000万円他、8つの特別会計及び水道事業会計予算が提案されました。

その中で、経済や産業に関しては、所管の産業常任委員会に付託されました。委員の意見聴取や現地視察に行き、詳細について活発な意見が交わされ、審議の結果、委員会、本会議とも原案のとおり可決されました。

今回の視察先は、道路の整備箇所として、はげの湯・明里線他2箇所と上水道配水管布設替工事箇所を実施しました。

その他本会議において、平成21年度補正予算の「きめ細やかな臨時交付金」で取り組む事業として、道路補修工事、橋梁の改修工事等について、各委員から活発な意見がありました。町民と町の発展のために全力を尽くしますので、宜しくお願いします。



小国グリーンロード（大銀杏橋）

危険箇所の柵 早急な設置望む



永田 征一郎

【商工企業促進課長】 スギトピア公園にレンガで造った花壇があり、そこには平成15年建設時に植えられた桜の木がある。植栽後七年が経過し、木が大きくなり根も張っている。公園に最初に植えた記念樹であり大事に持続させたいと思うので、もう少し広い場所に植え替えをしたらどうか。

【商工企業促進課長】 平成15年の公園建設時に記念樹として植えられた桜の木だが、木が大きくなり花壇が窮屈になったので、公園の他の樹木の剪定や管理を行うときに移植を含めて検討したい。

【問】 次に、旧国鉄跡の志賀瀬川に架かっている橋の件につ

いて。
この橋には両側に欄干がなく、以前、落下事故が起きているので早急に防護柵の設置をお願いしたい。

【商工企業促進課長】 問題のコンクリートの橋は、旧国鉄の跡地で、町が譲渡を受けた物件である。日常利用される方は、水田に行くか山仕事に行くかの方で、利用される方は少ないと思う。また九電の取水口があるので、今後九電と管理上のもので、協議し検討していきたい。



町の活性化について問う 小国町観光振興会議必要



原山 光成

【問】 町を元気にするためには、町外から人を呼び込みお金を落として貰うこと、生産物を町外に売ることが基本であり、そのために行政は、補助金などで、売れるもの作りを応援している。

総合的に調整して成果を急ぐべきではないか。

【商工企業促進課長】 特産品などの開発に多くの名目で支出していることは確かだが、それぞれの団体から要望があつて支出しているため、どれをふるいにかけるかは難しいものがある。

ただ、町内の観光は、杖立温泉、わいた温泉と別々に行われていた感があるため、一体化のため小国町観光振興会議を立ち上げて関係者の意見

を集約し、成果につなげたい。
【問】 大観峰から阿蘇谷にかけての国道212号線は、両側の杉が成長し、杉のトンネルが出来、冬の道路凍結時の車両通行や観光のためにも眺望が悪いため、さまざまな影響が出ている。その対策として、道路管理や観光を所管とする県や阿蘇市・南小国町と協議して行くべきではないか。

【町長】 以前から内牧から大観峰までの杉対策は、県と話し合つた記憶がある。道路両側の杉は民有財産であるため買取などの問題が生まれてくるので、県にお願いして対策を立てる必要がある。

そのほかに公共工事の用地買取についてたずねた。



農産物直販所 早期開設望む



梅田 正剛

【町長】新聞に記載の平成19年度町民所得が、県内で40番目と低い、積極的な経済対策をするべきではないか。

【総務課長】この数字は個人法人等の所得を人口割りしたものである。19年度は災害復旧事業等の公共事業が完了したので、その分目減りした。今後、各課横断的総合的な計画を立て頑張りたい。

【農林振興課長】近年は、天候不順やデフレの影響でJAは、1億円程度売り上げが減っている。売り上げ増のため直販所に力を入れようとしている。安心安全な農産物作りのため、土作りに取り組んでいきたい。場所の検討、運営の

仕組、野菜認証制度、生ゴミの堆肥化、経費節減等を考慮し、手取り向上となる答えを本年度中に出したいと思う。

【町長】一番街の再開発による観光客増への取り組みについて

【商工企業促進課長】阿蘇水基通りや他町の事例を参考にしたい。『宝トラライアングル』といったイベントや「なないろ」という交流の場、『おまの会』の夏祭り等も応援したい。また、観光案内人、小国町観光開発会議も支援したい。

【新聞報道で、『入札情報開示怠る』と報道されていたが、これはどういうことか。

【建設課長】契約工事名、後期の変更、契約金額の変更、工事変更理由、緊急工事随意契約理由公表が開示されていなかった。今後は注意したい。



総合計画について



時松 昭弘

【町長】町長の施政方針にあったが具体的に今後町の方針をどう捉えていくのか、総合計画を各課としてどう取り組んでいくのか。

【町長】平成22年度予算で、委託料を組んでいる。単なる総合計画を作るのではなく、財政計画や、各課別の計画を立て作成する。決して丸投げではなく、行政側に軸足を置き、基本の柱を作りたい。以前からの3つのシナリオの理念を捉え、今後の構想を考えていきたい。

【町長】計画に対する町長の考えは良く分かるが、国は政権交代により、繁雑に法改正等が行われている。地域主権の時代を迎え、交付税等の仕組みが変わろうとしている中、財政の入り口の部分をどう捉え

るか、国の方針を的確に掴み、企画政策立案する部所、財政及び法に詳しい職員の配置が必要ではないか。

【町長】企画制作立案の業務は大事だと認識している。現在の人員の状況では厳しい。しかし前向きに検討し、近い将来は設けて行きたい。

【町長】常に行政が、国に向けてアンテナを張っていないと、大事な情報を見逃すこともある。今度、全国で一兆円の交付税が増額されるとのことだが、適正な計画を持って、制度の中身をよく精査して欲しい。町の財源が限られている中、政策立案がいかに大事か、いかに必要性であるかを考え、町民の所得向上につながる計画を求める。

【町長】意見の通りだと思う。常にアンテナを張り必要性を考え、早く実現できるようにしたい。



福祉バス、乗合タクシーについて



熊谷 眞 巳

【問】福祉バス・乗合タクシーについて。隣町の病院ではバスの走っていない所にも患者さんを迎えに来ている。毎回同じ時間、同じ場所で待つて居れば来てくれる。小国地域公共交通会議で話行っているそうだが、早く当町も実施してほしい。

患者さんにとって迎えに来てもらい、診療後に買い物や用事まで済ますことができればこんなに有難いことはないと思う。

5、6年前にも同趣旨の質問を行った。一住民として公立病院を盛りたてて行こうと思っている。こういった事を早く実施できれば病院の運営に大きく貢献出来ると思う。



【総務課長】小国地域公共交通会議の実証実験に運輸・タクシー会社も参加し、本年度より行っている。町が出資してバスを雇えば早いですが、既存の会社も納得出来、民業を圧迫しないように十分考慮して早く実現できるように図りたい。

【その他の質問】小国公立病院の午前午後の受付時間と診療時間、町民のニーズにこたえる丁寧な医療体制について。

緊急経済対策の助成金について



石松 丈 多 郎

【問】JAジャージー生キャラメルの販売状況と、経済効果及び雇用等途中経過について。また、役場職員の出張の際の手土産に使うことで宣伝効果があるのではないか。

【農林振興課長】昨年6月に緊急経済対策として1,300万円をJAに助成して、生キャラメルの製造機や包装の機械を導入した。生産は、当初計画の40%だが昨年7月より、本年2月までに、1,780万円の売り上げがあった。

雇用は当初、町内より2名の予定だったが現在1名が、雇用されていて、今後、生キャラメル以外の新商品の製作を検討中。また、出張の際の手土産には、引き続き今後も小国の特産品を持っていきたい。



【問】岳の湯の木材乾燥施設について、木材の品質は良好とのことだが、今後小国杉の宣伝・販売をどのように推進するのか。

【町長】以前は、山から搬出し市場にて販売という方法がほとんどだったが、今後は、市場後の製品や、商品をより高値で販売していくための施策が大事だと思っている。

本年、森林組合へ小国杉を使用した建築やリフォームを支援することに400万円の予算を付けているが、希望が多く、不足するようなら皆さんの意見を聞いて、拡大することも考慮したいと思う。福岡市や、熊本市など大きな都市での木材製品の宣伝をやっていくことが大事だと考えている。

AEDは 徹底した管理を



小 田 清

現在AED（自動体外式除細動器）の設置場所と定期点検等管理状況や今後の増設計画はどうなっているか。

【総務課長】 小国小・中学校、役場、木魂館、杖立温泉会館、小国ドーム、林間広場に設置している。ゆうステーションには、3月に設置予定。今後、隣保館、保育園等について検討していきたい。管理については、公的機関は役場が、他施設は管理団体が点検している。

【健康福祉課長】 町内在住の認知症の方の総数と利用できる施設、職員の数はどれくらいか。

500人程度と思われる。施設ではみどりの里、柿の木の家、認知症グループホームな

ごみと南小国町に悠清苑があり、職員約200名、ケアマネージャーが15名いる。介護の相談は、役場健康福祉課や公立病院、民生委員等が受け付けているので、相談してほしい。地域の方の見守りが大切だと思っている。

町内独身者を対象にした婚活事業の計画や『oik!の会』等がイベントを計画する場合、支援する予定があるか。

【商工企業促進課長】『oik!の会』（小国・飲食店・向上・委員会）は、夜市などのイベントを活発に行っているし、他にも町内独身者の結婚に向けた活動事業計画があれば、併せて応援したいと思うので相談してほしい。



町長の施政方針 について



高 村 祝 次

平成22年度施政方針について町長の具体策が見えない。

【町長】 全般的に議員の意見を聞きながら予算に反映させた。また平成22年度において、総合5ヶ年計画の作成にあたっては、多くの人の意見を聞きながら作成して行きたい。

今年から人間ドックの予算が計上されているが、子宮頸ガンの予防接種についての取り組みは考えていないのか。

【町長】 全国でもやっている市もあるが、小さな町では取り組んでいない。少子化対策として、今後考えて行かなければならないことではないかと思っている。国に対して陳情も起きている。

企業誘致について現在どんな企業が来ているのか。

【商工企業促進課長】 農業関連企業が多いが、農地が無く厳しい状況である。

地元の農工商観光業者に雇用ができることに支援しても同じことではないか。農産物直販所の建設や、職員の出張時に小国町の観光パンフレットを持参して行くことで宣伝活動も大いに出来ると思う。

直販所建設に当たっては作物を生産するところから十分に検討されて進めてもらいたいと思う。議員の皆さんの意見も聞きながら検討していきたい。

保育園の延長保育は親が安心して仕事をするために評価できる。さらに小学校通学路沿いに「塾通り」を検討できないか。

【教育長】 塾通りは、非常に難しい。ただ学力向上のために、いろいろなことに取り組んでいきたい。小中9年間を学校の先生がきちんと教えて、塾に頼らなくてもよい学校教育に努めたい。



第一小国学園の 校舎建設について問う



奴留湯 哲 宣

〔問〕 平成22年度に第一小国学園の校舎建設を予定し、設計の予算1,400万円・建設費2億円を組み、木材使用により補助金が約半分とのことだが、建設単価と設備についてお尋ねしたい。

〔小国学園長〕 747㎡で、㎡単価24万3,000円でスプリンクラー・空調や内装を含めた単価で、鉄筋コンクリート単価25万円より安くなっている。また、木造で温かみのある施設となっている。

〔問〕 他町村では、学校の施設を木造で建設する時、地元産の木材活用と地元の大工さんの協力で、安く快適な校舎が施工出来たと聞いているので宜しくお願

いしたい。
また、平成23年までには、学園の全施設スプリンクラー設置



が義務付けられるが、今回の建設との連結は考えているのか。
〔総務課長〕 今回のスプリンクラーは、設計時に無駄が無いよう両方を含めた設計を考えている。
〔問〕 小国学園法人化に向けての動きは現在どのような状況か。
〔町長〕 〔健康福祉課長〕 入所者の保護者には説明し了解を得ている。職員の身分が問題となっており現在協議中である。また、社会福祉協議会及び専門的な職員を置いて、県への届出や財産の取り扱いなどを進めている。
その他・平野屋跡地の整地後の有効活用について。(答弁：公売、駐車場、フリーマーケットも視野に入れて考えている)。
悠木産業は、平成22年度で清算を考えているが、職員の身分保障はどのようになるのか。(答弁：部門毎の再就職の斡旋・地籍部門の移行など努力責任として行う。)

議会事務局紹介

(業務内容)

議会活動を円滑に進めるため、議会に事務局を置いて庶務的業務や議長及び議員の職務を補助する業務を行っています。

主に、次の業務を行っています。

★会議、委員会及び会議録の調製、保管に関すること

★請願、陳情、意見書等に関すること

★全員協議会等の運営に関すること

★各種調査、資料の作成に関すること

★議員の庶務に関すること
(議会)

小国町議会は、選挙で選ばれた町民の代表者(町議会議員)によって構成され、条例や予算・決算などの町政の重要案件を審議・決定をする町の議決機関です。

任期は4年で、現在の議員の任期は、平成19年5月1日から平成23年4月30日までです。

町議会では、年4回の定例会及び必要に応じて臨時会を

開催しています。

議会の会議には、全議員が出席して審議・決定をする本会議と、少数で構成して本会議で付託された案件などを詳細に審査・調査をする委員会があります。

委員会には、議会運営委員会と2つの常任委員会及び特別委員会があります。

職員の紹介

事務局長 渡邊 雄二
書記 安達 和成
書記 中島 こず恵

今後とも宜しくお願いします。



おぐにトピックス



上田地内の町有林

「カーボンオフセット」導入

平成22年4月19日坂本龍一さんが小国町の町有林を視察し、坂本さんが代表を務める「モア・トゥリーズ」と小国町が、企業活動で排出する二酸化炭素を森林の吸収量で相殺する基本協定を結んだ。

協定締結後は、町有林の吸収量を売却し、収益を間伐などに充てることになる。

坂本さんは、都市に住む人に山の機能や森林の役割を理解してもらえようと呼びかけていきたいと語っている。

特記

北里邦治議員については、議会初日緊急入院のため、欠席届けが提出され、一般質問はできませんでした。

また、議長は議事進行のため、一般質問は出来ませんので掲載しておりません。

お知らせ

議会事務局の場所が変わります。開発センターの4階に議会事務局と、監査委員事務局を移転します。

移転の時期は平成22年6月の予定です。議会について判らない事や、質問等がありましたらお気軽におたずね下さい。

編集後記

かねてより町民の方々より「議会だよりの発行を」という声が数多くあり、議員各位のご理解のもと、今回より各定例議会ごとに「議会だより」を発行することと致しました。

議会の状況をお知らせすることの大切さ、そして新しい発想のもと町民のくらしの原点に立ち、政策提言を行い、これから開かれた議会をさらに目指して行き、親しみやすい議会だよりの作成に取り組んで行きたいと思います。

(時松)

広報特別委員会

委員長	時松 昭弘
副委員長	小田 清
委員	奴留湯哲宣
	石松丈多郎
	永田征一郎
	原山 光成
	熊谷 眞巳